



国立大学法人 広島大学

取組年数

18年

井仁地区における民官学共同連携により 取り組んだ棚田の活性化と再生

関係棚田情報

井仁の棚田

| 所在地

安芸太田町

| 認定

- ・ 指定棚田地域
井仁の棚田
- ・ つなぐ棚田遺産
井仁の棚田
- ・ 日本の棚田百選
井仁の棚田



井仁棚田交流館で地域住民と学生との
地域課題解決に向けた取組協議



棚田カフェにて学生による棚田研究・地
域活性化支援プログラム発表



学生による「しわいマラソン」
応援横断幕の作成



棚田カフェにて地域住民と学生との交流



きっかけ

井仁地域では高齢化が深刻化し、農地の保全が困難になりつつあった。平成16年の広島大学による農家調査を契機に、「官民学協働ワークショップ」にファシリテーターとして広島大学研究室が参加し、運営支援が始まった。



取組内容

広島大学のゼミ「域学連携プログラム」において農作業の支援のほか、住民と協働して棚田体験会や棚田保全のためのワークショップを行い、地域貢献の意識づくりを醸成している。



推薦理由

県内棚田地域に募集を行ったところ、エントリーがあり、この取組を広島県と安芸太田町で議論したところ、毎年継続して活動を行い、棚田への貢献が認められるため推薦。